



校長室の窓から

《校長だより》

神奈川県立市ケ尾高等学校

校長 増淵 広美

平成 31 年 3 月 1 日

第 39 号

卒業おめでとう！～「高い志」を抱き、これからの社会で存分に力を発揮してください～

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。この3年間、保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、職員一同、深く感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、思い出のぎっしり詰まったこの学び舎をいよいよ巣立つ時がやってきました。3年前の入学式、私は皆さんに「知的好奇心」「感動する心」「挑戦」の三つを大切に高校時代を送ってほしいと伝えました。

あれから3年、皆さんは大いに学び、いろいろなことに挑戦してきました。そして、感動を夢や目標につなげ、今、4月からの新たな世界に大きな希望を抱いていることと思います。



私は、そんな皆さんからたくさんの感動をもらいました。さわやかな挨拶、何事にも全力で取り組む姿、仲間と共に何かを創り上げる情熱。特に、時期を6月に移しての体育祭では、多くの困難がありました。皆で力を合わせて乗り越え、見事にやり遂げてくれました。その達成感の中、全校生徒が肩を組み、校歌を歌う姿、そして、校歌を歌い終えるや全員が大円陣の中心に駆け寄っての「市高最高！」と感動の涙。それは、まさに青春そのものでした。

また、勉強でも部活動でも、皆さんは下級生のよきお手本でした。早い時期から自習室で仲間と勉強に励み、放課後には、黒板を使って学び合う姿をよく見かけました。部活動でも、ひたむきな努力、そして、全国大会、関東大会出場などの優れた実績など多くのことを残してくれました。

この市高で出会い、「市高最高！」という思いとかけがえのない時間を共有し、ともに成長してきた仲間をこれからも大切にしてください。

◆◆ 変化の激しい時代を志高く生きる

この5月には、新たな元号の時代を迎えます。そして、これから皆さんが生きていく社会は、IoT (Internet of Things) とAI (人工知能) 技術によってかなえられる、いわゆる「Society 5.0」の社会です。皆さんは、そんな社会の中核を担い、社会の未来を切り拓いていく人たちです。

変化の激しい社会では、学び続ける力が必要です。AI と共存していくためには、AI を使いこなす力も必要になります。しかし、何よりも皆さんに持ってほしいもの、それは、自分の人生を突き動かし、社会の未来を切り拓いていく「高い志」です。「志」とは、人生において、自分のためだけでなく、多くの人のため、社会のために、大切な何かを成し遂げようとする決意です。変化の激しい時代だからこそ、時代の流れに受け身ではなく、志高く主体的に生き、持っている力を存分に発揮してほしいと思います。

◆◆ 「有志竟成」(志ある者は事竟に成る)

「有志 竟成」(志ある者は事竟に成る)という言葉があります。「堅い志を持つ者は、いかなる困難に遭っても必ずその志を成し遂げる」という意味です。この言葉は、昨年ノーベル賞を受賞した本庶 佑さんの座右の銘としても知られています。

これまでの歴史の中で、有名、無名を問わず、志ある者が困難を乗り越えて社会を変革し、科学を進歩させ、未来を創ってきました。今も多くの人が志を持って、社会のため、人類の未来のために力を尽くしています。

人生を山登りにたとえるならば、どの山をどのように登るのか、それが人生です。是非、生涯をかけて登り続けて悔いのない、素晴らしい山を見つけてください。そして、時には迷いながらも決して怯むことなく、一途にその山の頂を目指してください。

すでにどの山に登るかを決めている人は、その聳え立つ山を今一度見上げ、その頂を心に刻んでください。それが「志を抱く」ということです。志を心の奥深くに確と抱くならば、人生は充実し、たとえどんな困難に遭おうとも、それを成長の糧とし、必ずや事を成し遂げることができるはずです。

登る山をこれから見つける人は、若いうちに、できるだけ早く見つけてください。人生に与えられた時間には限りがあり、その時間も思いのほか早く過ぎ去ってしまいます。

この世界のどこかに、皆さん一人ひとりにしか担えない役割が必ずあります。そして、人は、自分のためだけに生きるよりも、誰かのため、社会のために生きようとするとき、強い覚悟を持って生きることができます。

私は、皆さんが、社会や世界のどこかを支えているという自負を持ち、「高い志」を抱いて多くの人のため、未来のために存分に力を発揮してくれることを大いに期待しています。

◆◆ 「凡事徹底」「より高きを目指せ」「顔晴れ」

最後に、3年間、皆さんを励ましてきた三つの言葉を贈ります。

「凡事徹底」——凡事の先に大事があり、日常の先に皆さんの輝く未来があります。僅差の積み重ねがやがては大差となります。

「より高きを目指せ」——常に超えてほしいのは「今日の自分」です。皆さんには無限の可能性があり、人はいつまでも成長し続けることができます。

「顔晴れ」——日ごろは勿論、つらい時も笑顔を忘れずに。笑顔を大切に真摯に臨めば、結果は必ずついてきます。

43期生の皆さんが、自分らしい、納得のいく豊かな人生を歩んでくれることを心から願っています。

✿ 手作りのコサージュを今日の日の記念に ✿

卒業生の胸を飾ったコサージュは、PTA 学年委員と約 70 名のサポーターの皆さんが心を込めて作っていただきました。今日の日の記念に大切にしてください。

私も、各色ひとつずつ(計2つ)作りました。リボンの後ろに「M」の文字が書いてあります。



写真：PTAのHPより

※ 「M」の文字入りコサージュが渡った卒業生には、毎年本(『D・カーネギー・ベストコレクション』(「人を動かす」「道は開ける」「カーネギー名言集」))を贈っています。